

平成28年10月の思いやり通信

今年はゼロ・エネルギー住宅普及元年！

ZEHの定義

外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅。（経済産業省の定義）

①「外皮の断熱性能等を大幅に向上」：建物自体の断熱性能は、現行の省エネ基準より高いランクの外皮性能を求めています。

②「高効率設備システムの導入」：創エネ効果を除いたエネルギーの削減率（一般家電分などは除く）で20%以上となることを条件。

③「再生可能エネルギーを導入」：年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅をネット・ゼロ・エネルギーハウス、年間の一次エネルギー消費量をゼロに近づけた住宅をニアリー・ゼロ・エネルギーハウスと定義。

国は2020年までに、新築戸建て住宅の過半をZEHにするとして政策を強化しています。

（2016年9月1日 大阪木材仲買協同組合仲買だより記事から抜粋）

歩数に応じて電気割引 1日1万歩で14%

新電力のイーレックスはタニタ製活動量計を使って、歩いた歩数に応じて電気料金を割り引く家庭向け電力小売りサービスを始めます。

電力契約者が1日1万歩のペースで歩くと、年間の電気料金が大手より14%安くなります。

（2016年9月15日 日本経済新聞記事から抜粋）

